

徳育



発行日 平成30年1月30日
 発行 佐世保徳育推進会議（佐世保市教育会内）
 住所 栄町4番11号サンクル1番館2F
 TEL/FAX (0956) 23-2856
 E-mail sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp



「道は近きに在り」

佐世保徳育推進会議 会長 木村 勝彦

佐世保市民の皆様には健やかにお過ごしのことと拝察いたします。
 「徳育通信」第5号の発刊に寄せて、一言ご挨拶申し上げます。

さて今年度の「第8回徳育推進フォーラム」は、「子どもに伝える大人の徳育～江戸しぐさに学ぶ思いやり」をテーマとして、平成29年9月30日に開催されました。かつての日本人が誰でもあえて意識することなく実践していた何気ないしぐさに、人間としての思いやりややさしさが素朴なかたちで表現されていたことを振り返り、今日失われかけているそうしたしぐさこそが、人間関係の潤滑油として徳育推進の上でも大きな役割を果たすものであることをご来場の皆様と共に考えることができました。

徳育と聞くと誰もがとっつき難く、自分とは縁遠いことと思いがちですが、実は徳の種は私たちの日常生活の中にきわめて身近なものとして存在しているのではないのでしょうか。日々の生活とそれを織り成す人間関係の中の、何気ない言葉遣いや行動に徳のきっかけは見出されるのです。それをしっかりと教えることが徳育の基本に他なりません。徳や徳育がとっつき難く、縁遠いという感覚は、実は私たちがそのような身近な問題に目を向けようとしていないことに由来するのかも知れません。

古代中国の思想家孟子は、「道は近きに在り、^{しか}而るに人これを遠きに求む。事は易きに在り、而るに人これを難きに求む」と述べております。すなわち「人の踏み行うべき道はいたって手近なところにあるのに、人はこれを高遠なところにさがし求めている。また、人のなすべき事はきわめて容易いことなのに、人はこれをわざわざ難しいものとして考えている。どちらも甚だしい思い違いである」というのであります。そして孟子は「其の親を親とし、其の長を長とせば、則ち天下平らかなり」、つまり「自分の親を親として尊び、目上を目上として敬いさえすれば、天下は自ずから太平に治まるのだ。これほど手近な、容易いことはあるまい」と述べております。

孟子の言う当たり前の振る舞いの中に、徳の手掛かりはあるのではないのでしょうか。たとえば一徳運動として、多くの学校や職場、ご家庭が「挨拶」に取り組んでおられるのは、こうした観点からするとまことに当を得たもののように思われます。私たち一人ひとりの身近なところから、佐世保徳育推進活動がますます進展していくことを祈念しております。